

事業所名

放課後等デイサービス事業所 パンプーアイランド

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

30日

法人（事業所）理念		(ビジョン) ありのままに、そのままに、みんながつながり支え合える社会をつくる (ミッション) 新たな福祉の挑戦を地域から					
支援方針		ハンデキャップを抱える人たちが楽しく生活できるよう活動を提供する。現存する活動にとらわれることなく、利用者一人一人の「社会で生きていく上で必要な力の獲得」と「各世代の当たり前」を軸に、社会参加できる活動を中心にプログラムを組み立てる。社会への理解を求め、障害を持つ人たちが将来において社会参加できる土壌作りを積極的に進める。					
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	来所時の手洗い、検温、表情に加え、引き渡し時には体調について情報を共有し、利用当日の活動への影響を把握する。生活習慣の形成を目的に、靴・靴下、衣服の着脱や、排泄時の更衣、食事などの技術を獲得できるよう支援していく（具体例：着脱の練習・食器の使い方の練習の実施等）					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基盤となる上下肢の動きや、体幹の支持性、姿勢の安定が図れるよう、様々な遊具を使い機能、能力の向上のための支援をする。また、感覚の特性を評価し、生活場面、集団場面でも過ごしやすいよう、環境調整を行う。（具体例：着座時間の提供・散策による歩行訓練）					
	認知・行動	数量、大きさ、重さ、色の違いなど、様々な物の変化を認知する能力を向上させるために、個別で支援をする。また日々の集団生活の支援の中で他者を意識して活動をする支援する。（具体例：パズル、型はめ、塗り絵・サーキット・室内ゲーム等の実施など）					
	言語コミュニケーション	日常の会話の中で、具体的なことや物、体験と言葉の意味を結び付けるなど、体系的な言語の習得、自発的な発声自発的なジェスチャーを促す支援を行っていく。読み書きの能力向上のための支援をしていく。（具体例：絵カードのマッチング、発声練習、言語練習、気持ちを伝える練習・マカトンサインの実施など）					
	人間関係社会性	職員との信頼関係を構築する支援を行う。集団生活が苦手な児には、職員と一緒に活動に参加するなど、集団に参加できるよう支援する。（具体例：リトミック、サーキット、室内ゲームなど）					
家族支援		半年に一度、面談又は紙面により困り感や支援の意向を聞き、相談ができる環境を作っている。また送迎時の保護者との会話の中で困り感などがでた場合はチームで話家族支援をする環境を整える。			移行支援	進学などでステージが変わるときに、スムーズに次の社会生活に移行できるよう移行先との連携を図り、配慮が必要な児に対しては移行先と調整し支援方法の伝達を行う。	
地域支援・地域連携		放課後デイサービス・相談支援事業所との連携を構築し、利用児に対する適切な支援方法を確立させる。			職員の質の向上	職場内または外部の研修会への参加を促し、研修後は伝達講習をすることによる職場へのフィードバックを図っている。	
主な行事等		保護者会・関係機関との会議・地域の方とのFESTA					